

徹底的に数字で検証すると、組織での戦い方が見えてきます。

ダイセイ倉庫運輸株式会社
代表取締役社長 吉田 憲三 氏

1974年設立の愛知県小牧市に本社を置く物流会社。事業内容は運送・保管業務(受託製造はフィルムと合成樹脂に特化)。おもに東レグループの関東・中京地区のフィルム・樹脂製品の運送・保管業務を行う。



「共有」するのは情報ではなく、情熱だと考えています。

株式会社 須賀川 東部運送
代表取締役社長 吉田 雅弘 氏

1973年設立の福島県須賀川市に本社を置く物流会社。事業内容は運送・保管(常温から冷蔵まで)業務。東レグループ製品ではフィルム・樹脂製品の運送・保管業務を行う。

物流品質優良企業にお話を伺いました

東レ(株)が開催する「物流基本方針説明会」で受賞経験のある物流パートナー企業のトップに、物流品質向上活動についてお話を伺いました。

Q1 東レ(株)は、毎年「物流基本方針説明会」を開催し、優良企業の皆様を表彰させていただくと同時に、各社の優れた取り組み内容をプレゼンテーションしていただく場を設けています。このような東レ(株)の物流活動について、まずは率直なご意見・ご感想をお聞かせください。

須賀川東部運送: 東レ(株)の「物流基本方針説明会」に参加すると、荷主である東レ(株)が、物流改善や品質向上に本気で取り組んでいることが伝わってきます。また、評価の機会を設けていただいているので、物流企業同士で相乗効果が生まれ、学び合い、お互いを高め合いながら仕事に取り組んでいると思います。

ひとつの大きなチームの一員として、各持ち場に帰って自分が何をすべきか。それらをおのずと考えるようになり、そういう努力が最終的には、東レグループの物流力に繋がっていると信じて仕事に取り組んでいます。

ダイセイ倉庫運輸: 東レ(株)からいただいた優良企業の表彰状は、お客様からいただいた感謝状なんだと思っています。自分たちの仕事が感謝されたということですから、社員も喜び、さらに仕事に対するやる気が出てきます。

3年前に、東レ(株)の期待に応えようと社内で「東レタスクフォース」というチームをつくりました。うちにはお取引先が400社ほどあり、それぞれに対して、輸送部門、倉庫部門、オペレーション部門、事務、営業、経理、総務……といった多くの部署が関わっていますが、東レ(株)の仕事に関わるすべての分野の担当を集め、ひとつのチームをつくりました。すべての分野の品質を上げるために、まずはチームという核をつくり、徹底的に数字で検証し、取り組むべきポイントをクリアにしていく。これらは、私が東レ(株)の「物流基本方針説明会」で感じた「数字で検証することの重要性」を社内で活かした結果ともいえます。



東レタスクフォース会議

Q2 東レ(株)は2006年から物流品質向上活動を開始しました。物流パートナーの皆さまにも多大なご協力をいただき、物流トラブル件数はほぼ半減するなど、大きな成果を見せています。両社様ともオリジナリティのある品質向上活動を実施されていますが、なかでも「これは!」と思われる独自の活動を教えてください。

ダイセイ倉庫運輸: 「8Sパトロール」です。「5S」の整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、に取り組んでいる会社は多いと思いますが、弊社はこれに、セーフティー、スペース、スマイルの3つを加えました。もう10年以上取り組んでいます。8Sパトロール委員がチェックし、毎月社内の全体会議で8Sの優秀部門を表彰しています。みんなが納得できる評価システムをつくることで、目指す姿を共有し、現場での意識の醸成につなげています。

須賀川東部運送: 「はい」訓練です。「品質とは人質」といわれることもありますが、物流品質を上げていくためには人材育成が不可欠です。その人材育成を考えた時に、まずは、人としての基本であるあいさつや返事(受け応え)を徹底していこうと思いました。常に基本中の基本を大事にしていこうという取り組みです。握手をしながら、一対一でお互いの名を呼び、はっきり[は

い]と応え合います。必ず1週間に1度行います。「優秀人質賞」を設けて、評価にもつなげています。表彰式の際は、グラミー賞からヒントを得て、レッドカーペットの上を歩いてもらうというユニークなイベントも始めました。経営者として、社員を大事に思っている気持ちや感謝の気持ちを、何かわかりやすい形で表したいと考えました。こういった楽しみもプラスしながら取り組んでいます。



「はい」訓練」および「服装点検」の実施

Q3 お二人の、経営者としての今後の目標や考えなどがございましたらお聞かせください。

須賀川東部運送: 私は社長になって3年目ですが、先ほど申し上げた「品質は人質」の考えのもと、引き続き、人材育成に力を入れたいと考えています。ただ教育をするだけでなく、確実に浸透させることにこだわりたいと思います。現在も、職場で共有すべきことや特に注意すべきことは、全員に見えるように掲示・表示し、しつこく確認し合っていますが、こういった地道な努力が「続ける力、全員でやる力」につながっていくと思っています。

また、お客様から、「任せてよかった」という言葉をいただくことが、私たち物流業者の原点だとも思います。特に東日本大震災の際は、同業者の間で、「東北の方のお礼の心が心にしみた」、「運送会社でよかったと改めて思った」、という声を聞きました。私たちは、指定の場所に物を安全に届けて当たり前なのですが、お客様からの感謝の言葉を素直に喜ぶことが原点なんだと思います。その思いを忘れずにいたいですね。



「目で見える管理」をモットーに、特徴ある掲示物で注意喚起

ダイセイ倉庫運輸: 長年、経営者として経験を積んではきましたが、まだまだ悩んでいる最中ですね。「変えてはいけないもの」と「変えねばいけないもの」があります。それを見極めていくことの連続です。正しく見極めるには、学びと検証が常に必要です。また、流れが速く複雑化していく社会に対応していくためには、社内の伝統・精神だけでなく、具体的には、ISOやグリーン経営認証など社外の規範やルールを取り入れ、社外の要求水準に見合うような会社づくりをせねばなりません。私は、求めるところ、いきつくところは社会貢献なんだと思っています。「三方よし」理念の「世間よし」ですね。今後もそういう志を忘れずに、本業(事業)はもちろんすべての企業活動に取り組みたいです。

貴重なお話、ありがとうございました。



当社出席者
物流部長 澤野 幸男
物流部 物流第1課長 水津 知之
購買・物流企画推進室 井上 剛宏
CSR推進室 室長 酒井 恵子
CSR推進室 主任部員 垣添 雄介
広報室 主任部員 東浦 秀年
2012年6月27日
東レ(株)本社にて